

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月12日

上場会社名 新コスモス電機株式会社 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 6824 URL <http://www.new-cosmos.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重盛 徹志
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 前條 忠則 TEL (06) 6309-1502

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	12,336	5.3	1,143	32.9	1,200	31.4	748	27.2
19年3月期第3四半期	11,711	17.4	860	94.9	913	91.5	588	84.8
19年3月期	17,057	—	1,558	—	1,616	—	973	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	60	54	—	—
19年3月期第3四半期	47	60	—	—
19年3月期	78	66	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第3四半期	22,657	17,943	78.9	1,444	46
19年3月期第3四半期	22,078	17,099	77.1	1,376	84
19年3月期	23,096	17,526	75.6	1,411	18

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	882	△595	△247	7,606
19年3月期第3四半期	340	△158	△161	7,500
19年3月期	584	△332	△161	7,569

2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
通期	18,000	5.5	1,400	△10.1	1,430	△11.5	850	△12.6	68	71

第3四半期の業績は概ね予想通り推移しており、平成19年5月17日に公表しました業績予想からの変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】5. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予想を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって上記予想とは異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成19年4月1日から平成19年12月31日まで）におけるわが国経済は、企業収益が概ね堅調に推移する中、設備投資も引き続き増加基調にあるものの、景気は、原油価格の高騰や、米国の信用力の低い個人向け住宅融資（サブプライムローン）問題の影響などから減速がみられました。

このような環境のもとで、当社グループは、温泉施設でのガス事故等による安全管理に対する意識の高まりに応えるべく、お客様の視点での新商品開発、営業・サービス体制及び技術・品質管理体制の強化をはかり、主力のガス警報器・ガス検知器の積極的な販売活動を展開してまいりました。

その結果、家庭用ガス警報器及び業務用携帯型ガス検知器、工業用定置式ガス検知警報器が伸び、売上高は前年同期比5.3%増の123億3千6百万円となりました。利益につきましては、営業利益は前年同期比32.9%増の11億4千3百万円、経常利益は前年同期比31.4%増の12億円となり、第3四半期純利益は前年同期比27.2%増の7億4千8百万円となりました。

商品別の概況は以下のとおりであります。

・家庭用ガス警報器

都市ガス用につきましては、火災警報機能付商品・複合型警報器の拡販に努めました結果、売上高は前年同期を上回りました。

LPガス用につきましては、OEM製品を中心に拡販に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。

住宅用火災警報器の売上高は前年同期を下回りました。

その結果、家庭用ガス警報器としては、売上高は前年同期と同水準で推移しました。

・工業用定置式ガス検知警報器

産業界における保安設備の見直しが続く中、電力・半導体業界での更新需要の好調にささえられ、売上高は前年同期を上回りました。

・業務用携帯型ガス検知器

ガス器具の不完全燃焼及び温泉施設でのガス事故等による安全管理に対する意識の高まりに加え、都市ガス業界向けの識別計と鉄鋼業界向けの一酸化炭素計も好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、固定資産の増加5千5百万円及びたな卸資産の増加4億6千5百万円などがあつたものの、売上債権の減少10億6千1百万円により、前連結会計年度末に比べ4億3千9百万円減少して226億5千7百万円となりました。

負債は、未払法人税等の減少3億9千7百万円、未払金の減少3億4千5百万円及び賞与引当金の減少1億7千万円があつたものの、支払手形及び買掛金の増加6千4百万円などにより前連結会計年度末に比べ8億5千6百万円減少して47億1千3百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加5億1百万円などにより、前連結会計年度末に比べ4億1千7百万円増加し179億4千3百万円となりました。

この結果、1株当たり純資産は1,444円46銭となり、自己資本比率は78.9%となりました。

3. 連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3千7百万円（0.5%）増加して76億6百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は、8億8千2百万円となりました。

これは主に、法人税等の支払い8億2千2百万円及びたな卸資産の増加4億6千5百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益12億2千5百万円及び売上債権の減少10億6千1百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、流出した資金は、5億9千5百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出3億6千6百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、流出した資金は、2億4千7百万円となりました。

これは、配当金の支払いによるものであります。

4. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績の見通しにつきましては、平成19年5月17日の業績予想通り売上高180億円、営業利益14億円、経常利益14億3千万円、当期純利益8億5億万円を見込んでおります。

5. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準及びその他一部については簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前第3四半期 (平成18年12月31日現在)		当第3四半期 (平成19年12月31日現在)		前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額
(資産の部)		%		%		%	
I 流動資産							
1. 現金及び預金	7,008,199		7,222,727		7,176,517		
2. 受取手形及び売掛金	4,977,315		5,197,714		6,259,363		
3. 有価証券	546,012		492,286		490,988		
4. たな卸資産	3,343,989		3,373,431		2,908,203		
5. その他	302,633		294,569		241,159		
流動資産合計	16,178,151	73.3	16,580,729	73.2	17,076,233	73.9	△495,503
II 固定資産							
1. 有形固定資産	3,629,274	16.4	3,689,957	16.3	3,643,362	15.8	46,594
2. 無形固定資産	315,590	1.4	300,983	1.3	333,608	1.4	△32,625
3. 投資その他の資産	1,955,949	8.9	2,085,610	9.2	2,043,649	8.9	41,960
固定資産合計	5,900,814	26.7	6,076,551	26.8	6,020,621	26.1	55,929
資産合計	22,078,965	100.0	22,657,280	100.0	23,096,854	100.0	△439,574

（単位：千円）

科目	前第3四半期 （平成18年12月31日現在）		当第3四半期 （平成19年12月31日現在）		前連結会計年度 （平成19年3月31日現在）		増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額
（負債の部）		%		%		%	
I 流動負債							
1. 支払手形及び買掛金	2,954,925		2,743,288		2,678,743		
2. 未払金	280,958		286,302		632,070		
3. 未払費用	86,775		88,882		104,907		
4. 未払法人税等	249,376		187,852		584,908		
5. 賞与引当金	119,650		80,975		251,511		
6. その他	392,138		460,044		431,235		
流動負債合計	4,083,825	18.5	3,847,347	17.0	4,683,376	20.3	△836,029
II 固定負債							
1. 退職給付引当金	760,224		751,212		751,034		
2. 役員退職慰労引当金	124,626		111,684		125,241		
3. その他	10,947		3,250		10,614		
固定負債合計	895,797	4.1	866,147	3.8	886,889	3.8	△20,742
負債合計	4,979,622	22.6	4,713,494	20.8	5,570,266	24.1	△856,772
（純資産の部）							
I 株主資本							
1. 資本金	1,460,000	6.6	1,460,000	6.5	1,460,000	6.3	—
2. 資本剰余金	934,443	4.2	934,443	4.1	934,443	4.0	—
3. 利益剰余金	14,575,383	66.0	15,461,081	68.2	14,959,653	64.8	501,428
4. 自己株式	△278,490	△1.2	△278,490	△1.2	△278,490	△1.2	—
株主資本合計	16,691,337	75.6	17,577,034	77.6	17,075,606	73.9	501,428
II 評価・換算差額等							
1. その他有価証券評価差額金	340,297	1.5	291,058	1.3	380,723	1.7	△89,664
評価・換算差額合計	340,297	1.5	291,058	1.3	380,723	1.7	△89,664
III 少数株主持分	67,708	0.3	75,693	0.3	70,258	0.3	5,435
純資産合計	17,099,343	77.4	17,943,786	79.2	17,526,587	75.9	417,198
負債、純資産合計	22,078,965	100.0	22,657,280	100.0	23,096,854	100.0	△439,574

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		当第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		増減 金額	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比		金額	百分比
I 売上高	11,711,442	100.0	12,336,660	100.0	625,217	17,057,506	100.0
II 売上原価	6,841,756	58.4	6,910,458	56.0	68,701	9,867,283	57.8
売上総利益	4,869,685	41.6	5,426,202	44.0	556,516	7,190,222	42.2
III 販売費及び一般管理費	4,008,903	34.3	4,282,346	34.7	273,442	5,632,110	33.1
営業利益	860,781	7.3	1,143,856	9.3	283,074	1,558,112	9.1
IV 営業外収益	56,353	0.5	58,993	0.5	2,639	61,866	0.4
V 営業外費用	3,374	0.0	2,332	0.0	△1,041	3,779	0.0
経常利益	913,761	7.8	1,200,516	9.7	286,755	1,616,199	9.5
VI 特別利益	—	—	36,626	0.3	36,626	—	—
VII 特別損失	6,532	0.1	11,948	0.1	5,415	8,852	0.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	907,228	7.7	1,225,195	9.9	317,966	1,607,346	9.4
税金費用	310,960	2.7	470,299	3.8	159,339	624,258	3.7
少数株主利益	7,467	0.0	6,066	0.0	△1,401	10,017	0.0
四半期(当期)純利益	588,801	5.0	748,829	6.1	160,028	973,070	5.7

(3) (要約)四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期連結会計期間（自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日 残高	1,460,000	934,443	14,147,393	△278,490	16,263,346
第3四半期中の変動額					
剰余金の配当（注）			△160,810		△160,810
四半期純利益			588,801		588,801
株主資本以外の項目の第3四半期中の変動額（純額）					
第3四半期中の変動額合計	－	－	427,990	－	427,990
平成18年12月31日 残高	1,460,000	934,443	14,575,383	△278,490	16,691,337

	評価・換算差額等 合計	少数株主持分	純資産合計
平成18年3月31日 残高	372,930	60,721	16,696,998
第3四半期中の変動額			
剰余金の配当（注）			△160,810
四半期純利益			588,801
株主資本以外の項目の第3四半期中の変動額（純額）	△32,632	6,987	△25,645
第3四半期中の変動額合計	△32,632	6,987	402,345
平成18年12月31日 残高	340,297	67,708	17,099,343

（注）平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

当第3四半期連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日 残高	1,460,000	934,443	14,959,653	△278,490	17,075,606
第3四半期中の変動額					
剰余金の配当			△247,401		△247,401
四半期純利益			748,829		748,829
株主資本以外の項目の第3四半期中の変動額（純額）					
第3四半期中の変動額合計	－	－	501,428	－	501,428
平成19年12月31日 残高	1,460,000	934,443	15,461,081	△278,490	17,577,034

	評価・換算差額等 合計	少数株主持分	純資産合計
平成19年3月31日 残高	380,723	70,258	17,526,587
第3四半期中の変動額			
剰余金の配当			△247,401
四半期純利益			748,829
株主資本以外の項目の第3四半期中の変動額（純額）	△89,664	5,435	△84,229
第3四半期中の変動額合計	△89,664	5,435	417,198
平成19年12月31日 残高	291,058	75,693	17,943,786

前連結会計年度（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日 残高	1,460,000	934,443	14,147,393	△278,490	16,263,346
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当（注）			△160,810		△160,810
当期純利益			973,070		973,070
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	812,259	—	812,259
平成19年3月31日 残高	1,460,000	934,443	14,959,653	△278,490	17,075,606

	評価・換算差額等 合計	少数株主持分	純資産合計
平成18年3月31日 残高	372,930	60,721	16,696,998
連結会計年度中の変動額			
剰余金の配当（注）			△160,810
当期純利益			973,070
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	7,792	9,537	17,329
連結会計年度中の変動額合計	7,792	9,537	829,589
平成19年3月31日 残高	380,723	70,258	17,526,587

（注）平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	当第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益	907,228	1,225,195	1,607,346
減価償却費	310,193	372,322	427,369
有形固定資産除売却損	3,982	2,167	6,302
負ののれんの償却	△5,760	△7,364	△6,092
貸倒引当金の増減額（減少：△）	36,543	△36,487	87,200
賞与引当金の増減額（減少：△）	△117,808	△170,535	14,052
役員賞与引当金の増減額（減少：△）	△1,660	△16,600	16,200
製品保証引当金の増減額（減少：△）	△8,713	2,031	15,186
退職給付引当金の増減額（減少：△）	15,708	178	6,518
役員退職慰労金引当金の増減額（減少：△）	17,684	△13,556	18,299
受取利息及び配当金	△27,078	△28,227	△29,424
売上債権の増減額（増加：△）	△722,855	1,061,648	△2,004,903
たな卸資産の増減額（増加：△）	△941,039	△465,228	△505,253
仕入債務の増減額（減少：△）	1,402,523	64,544	1,126,342
その他	△180,107	△313,547	159,297
小計	688,842	1,676,541	938,440
利息及び配当金の受取額	25,159	28,126	27,185
法人税等の支払額	△373,424	△822,538	△381,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	340,577	882,130	584,151

（単位：千円）

	前第3四半期 （自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）	当第3四半期 （自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）	前連結会計年度 （自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）
区分	金額	金額	金額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得による支出	—	△201,232	△150,344
有価証券の償還による収入	24,000	5,000	29,000
有価証券の売却による収入	—	201,669	100,509
有形固定資産の取得による支出	△153,258	△366,580	△249,185
有形固定資産の売却による収入	—	495	542
無形固定資産の取得による支出	△42,677	△57,774	△59,260
投資有価証券の取得による支出	△69,874	△10,368	△139,244
投資有価証券の償還による収入	50,000	—	100,000
金銭信託の満期による収入	76,130	—	76,130
その他	△43,009	△166,509	△41,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,689	△595,300	△332,991
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払額	△160,523	△247,221	△160,807
少数株主への配当金の支払額	△480	△480	△480
財務活動によるキャッシュ・フロー	△161,003	△247,701	△161,287
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	52	△1,621	△642
V 現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	20,936	37,506	89,230
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,479,775	7,569,006	7,479,775
VII 現金及び現金同等物の期末残高	7,500,712	7,606,513	7,569,006

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期

当社グループは、商品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列のガス警報器・検知器を専ら製造・販売及びメンテナンスを行っておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前年同四半期

当社グループは、商品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列のガス警報器・検知器を専ら製造・販売及びメンテナンスを行っておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当四半期

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前年同四半期

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。